

A background image showing laboratory glassware. On the left is a glass vial with a white stopper and a label. In the center is a test tube held by a pair of tweezers. The background is a blurred laboratory setting with a blue cloth.

H29年度研究会 活動発表会

くすり研究会

2017.06.20

メンバー

参加健保名称	参加健保名称
富士フイルムグループ（担当理事）	第一三共グループ
ヤマトグループ(担当理事)	第一三共グループ
サノフィ(リーダー)	栗田
国際興業(サブリーダー)	ディスコ
ニチレイ(サブリーダー)	三越伊勢丹
日本アイ・ビー・エム(サブリーダー)	ヤマハ
グラクソ・スミスクライン	オートバックス
花王	東京ガス
パナソニック	ポッシュ
日本航空	日本ヒューレット・パッカード
トピー	SGホールディングスグループ
日本マクドナルド	野村証券
日本郵船	日立
ノバルティス	ブリヂストン
プレス工業	小松製作所
山崎製パン	敬称略:30健保31名 ※青字は今年度参加者

メンバーの特徴

- ✚ 昨年度からの継続者が多い
（継続25名、新規6名）
- ✚ 常務理事が11名と多い
- ✚ 担当業務が適用・給付・経理・総務・保健師
など幅が広い
- ✚ 毎回、ノミュニケーション実施
- ✚ 製薬会社健保が4健保5名参加

研究会の進め方について

- ・昨年度同様、メンバー全員での全体学習と班単位での活動の二部制とする。

《全体学習について》

- ・運営委員会にて研究会に相応しい内容を選定し、外部の専門家を招いて学習する。

《班単位での取り組み》

- ・今年度は、4つのテーマを選定。
4班に分け、今年度も全国大会等での発表を目指して取り組んでいく。

期待される成果

ジェネリック班／GE80班

メンバー	ヤマトG(班長)、野村證券、東京ガス※、パナソニック※、 日本HP 、小松製作所、 ボツシュ ※、ブリヂストン、 SGHG ※継続メンバー
GE80とは	<p>政府は後発医薬品(GE)の数量シェア目標80%以上達成を2020年9月までとし、2017年央に70%以上とする中間目標としています。</p> <p>GE80班は、その目標達成のために保険者が出来る具体的な取り組みを見出し、結果を求めていく決意を込めたものです。</p> <p>単年度の目標としてG班健保全ての後発薬使用率を70%以上とすることを目指し、そのノウハウを公開します。</p>
期待される成果・行動計画・手段	<p>使用率目標を達成する取り組みを見出すとともに、医療費削減の原点に立ち返り金額ベースでの薬剤費の削減についても提言することで、推進する会参加健保に実質的なメリットを享受する。</p> <p>①昨年度の分析をベースにターゲットを明確にした具体策を試行し、その実績を検証することで効果の高い取り組みを見出す(2017年11月)</p> <p>②薬剤費の削減(GE化、OTC置換、無駄な薬剤の解消など)だけでなく、バイオ薬品はじめ高額薬剤の使用動向を把握し、バイオシミラーの利用促進についても学習する(今年度内)。</p>

期待される成果

コンコーダンス医療班（賢い患者を育てる班）

メンバー	GSK(班長)、富士フィルムG、日本IBM、日本郵船、ノバルティス、 JAL、第一三共G
活動指針	前年度、全国大会で提言した「賢いコンコーダンス患者になるための5ヶ条」を患者、付き添う家族用にマニュアル化する。マニュアルでは、患者としての加入者が、医師、コ・メディカルや薬剤師に的確に自分の痛みなどの症状や困っていること、価値観などを伝えられるコミュニケーションの取り方を具体的に示す。
期待される成果・ 行動計画・ 手段	<p>①患者から、自分が感じる病気への不安、初めての薬剤の不安や自分の信念をしっかり伝えることで、</p> <ul style="list-style-type: none">● 医療者とのパートナーシップが生まれる● 薬の作用や効果、正しい用法要領が理解できる● 重複投与・他剤投与が是正され、残薬も解消される● 薬剤による期待された治療効果が得られる <p>②医師用の医療面接トレーニングツールなどから、医師が聴きたい事柄を特定し、それに対し適切に言葉で表現するための患者用のマニュアルを作成する。患者本人だけでなく付添い用や対薬剤師用なども用意する。</p>

期待される成果

ホリファーマシー班

メンバー	サノフィ(班長)、国際興業、ニチレイ、山崎製パン、花王、ヤマハ、日本マクドナルド、日立
ポリファーマシーとは (多い、薬) ※有害事象	一般的には「多剤併用の患者で、薬剤による有害事象※が起こっている状態」を示す。処方上の問題(類似薬の重複・薬剤性の副作用・薬物間相互作用など)が無ければポリファーマシーではありません。薬物との因果関係がはっきりしないものを含め、薬物を投与された患者に生じたあらゆる好ましくない、あるいは意図しない微候、症状、または病気。
ポリファーマシーの原因 ※処方カスケードとは	服薬コンプライアンスの低下、薬の配合禁忌、処方カスケード、漫然投与、投与の中止ができない、多受診病院・科、機能低下など 医師は「病気(症状)に対して処方する」のが基本なので、新たな症状に対してどんどん薬が「オン」されていきます。「薬の副作用ではないか」と疑い処方を削る発想は、なかなか出てこないものです。
期待される成果・ 行動計画・ 手段	ポリファーマシー対策の実態を調査し、効果的なポリファーマシー対策(保険事業)を研究する。 目的、目標、対象者、具体策、評価、委託会社、コストなど

期待される成果

ホ ° リ フ ァ ー マ シ ー 班

メンバー	サノフィ(班長)、国際興業、ニチレイ、山崎製パン、花王、ヤマハ、日本マクドナルド、日立
リフィル処方箋とは (まだ、日本では認められていない) リフィル処方箋の メリット、デメリット リフィル処方箋 実施国 医師会反対理由	リフィル処方箋があれば、病院に通うことなく、近所の薬局で一つの処方せんで複数回医薬品の処方が受けられるようになる。 メリット:患者の手間減少、残薬の削減、医師の負担軽減 デメリット:医師の経過観察できなくなる、薬剤師が医師の代わりに経過観察を行う(薬剤師の仕事内容が大きく変わる)、 薬品転売の可能性 アメリカ、フランス、イギリス、オーストラリアなど 「体調確認はかかりつけ医の業務」「議論する状態にない」と強く反対
期待される成果・ 行動計画・ 手段	リフィル処方箋について、さまざまな観点で研究・分析を行い、リフィル処方箋が国に認められるように、(健保連)幸野理事へ提案する。

期待される成果

セルフメディケーション&OTC班

メンバー

栗田、ディスコ、オートボックス、トピー、第一三共G、
三越伊勢丹、プレス工業

活動スローガン

【セルフメディケーションとは】

- 「予防・健診をきちんと行い、軽い病気・不調は『OTC医薬品』で症状を緩和させる」行動を指し、その促進を目的としたセルフメディケーション税制が本年1月にスタートしました。
- 健康管理の習慣や医療・薬の知識など、自主的・主体的な健康行動の基本が身につくのみならず、医療費適正化にもつながります。

【活動スローガン】

「すぐ病院、なんでも病院」から、「自分の健康は自分で守る」健康行動へ……普及のキーワードは『OTC』！

期待される
成果・
行動計画・
手段

- 広報・教育に必要な情報を、日本OTC医薬品協会や常備薬販売業者に加え、薬局からも収集し、資料化および既存資料改訂を行う。(2017年12月まで)
- 健保加入者向けの情報提供(ポスター・チラシ・マニュアル・その他広報メディア)と、WEBツール等による利用促進策検討を行う。(2018年1月まで)
- OTC医薬品による医療費削減について、効果検証の方法を検討する。(レセプト活用、医薬品製造・販売業者からの情報入手等、2018年1月まで)
- 今後の継続的な展開に向けて、普及促進対象(年齢、地域等)の絞り込み、意識・行動変容の効果検証および関係研究会との連携について、検討する。(2018年3月まで)